

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	子ども発達支援センター 大分なごみ園		
○保護者評価実施期間	2025年12月20日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年12月20日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月20日		～ 令和8年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問支援歴が5年以上の職員を配置する事により専門性の高い訪問を実施する事ができる。	訪問支援を行う上で保護者の意向と訪問先の支援者・先生との意思の疎通を図るようにしながら専門的な助言等に繋がるように配慮している。	訪問支援を実施する際には保護者・訪問先の承諾を得た上で一般職員にも同行する事で次の訪問支援員のOJTを実施している。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援のニーズが高く、訪問支援員の人数に限りがある為、十分にニーズに応える事が出来ていない点が上げられる。	人員配置等の関係上、訪問支援員に配置する事が難しい現状がある。	上記、「さらに充実を図るための取組等」でも記述した通り、一般職員にも訪問支援員としてのスキルを身につけ人員配置を整えながら訪問支援員を増員しニーズにあった訪問を実施していく。
2			
3			